

2022年3月期

第2四半期 決算説明資料



JTP 株式会社

Connect to the Future

JQ 2488

2021年12月1日



© JTP Co., Ltd. All Rights Reserved.



日本のサード・パーティを  
**世界の JTP に**

Connect to the Future

**JTP**

第2の創業へ

2021年4月1日、

日本サード・パーティは、

**JTP**へ社名変更を実施しました。



# I. 事業概要



# 売上高事業構成



## デジタル イノベーション

売上高 売上高構成比  
414百万円 12.5%

・新規事業セグメント (AI、RPA、ロボティクス)

## 教育ソリューション

売上高 売上高構成比  
298百万円 9.0%

- ・海外メーカーやサービスベンダの市場参入にともなうエンドユーザー向けの技術トレーニング事業請負
- ・当社独自のICTの最先端技術トレーニングの提供
- ・スキルの棚卸しから不足するスキルを補う教育までのサイクルを総合的にコンサルティングする人財コンサルティングサービス

## ライフサイエンス サービス

売上高 売上高構成比  
531百万円 16.0%

- ・医療機器、化学分析装置などの据付、点検、校正、修理等の保守サービス

## 西日本 ソリューション

売上高 売上高構成比  
486百万円 14.7%

西日本ソリューションの定義：

愛知から以西（岐阜・福井を含む）の顧客取引を示す

2022年3月期  
第2四半期 売上高

3,303百万円

## ICTソリューション

売上高 売上高構成比  
1,573百万円 47.6%

- ・ICTシステムの設計・構築・運用・保守サービス
- ・製造支援サービス

# II. 2022年3月期 第2四半期決算実績



# 2022年3月期 第2四半期 決算のポイント



- ✓ 教育ソリューションを除く全てのセグメントがコロナ前水準に回復  
高付加価値サービスの受注
- ✓ 前年同期比で増収増益
- ✓ 下期に続く案件受注が好調
- ✓ 半導体不足による納期遅延、急激な物価上昇による投資抑制など  
ネガティブ要素を勘案し、通期業績予想は据え置き

# 2022年3月期 第2四半期 決算サマリー



➤ 高付加価値サービスの受注等により、前年同期比で増収増益

(単位：百万円)	2021年3月期	2022年3月期			
	第2四半期	第2四半期		通期	
	実績	実績	前年同期比 (%)	業績予想	進捗率 (%)
売上高	2,861	<b>3,303</b>	115.4%	6,500	50.8%
営業利益	50	<b>156</b>	309.4%	420	37.1%
経常利益	64	<b>169</b>	262.3%	435	38.9%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	38	<b>51</b>	135.0%	261	19.5%

# 財務分析 (B/S)



➤ 収益認識会計基準適用に伴う表示の変更及び減少で、それ以外の大きな変動はなし

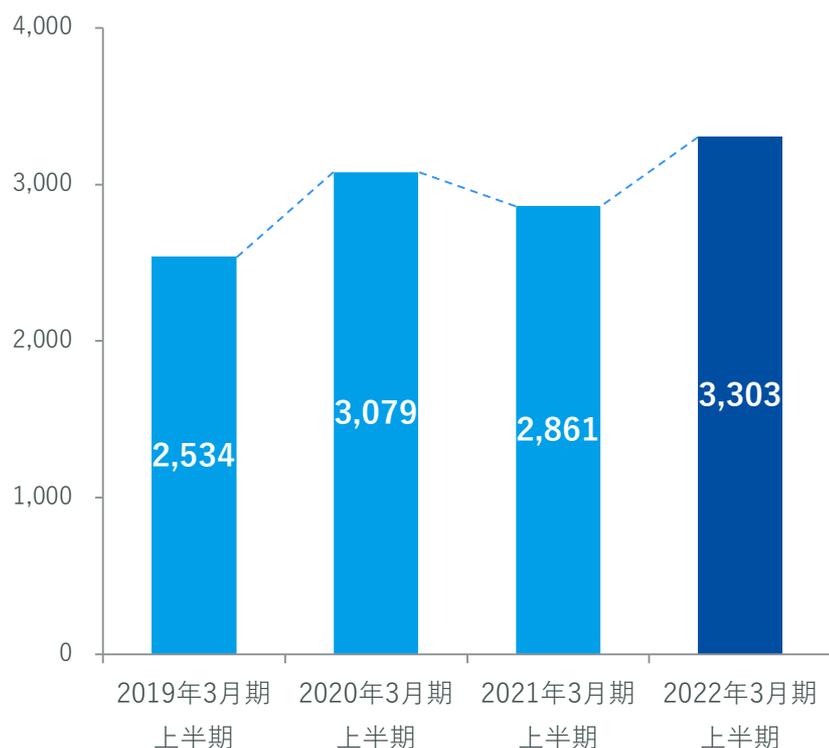
(単位：百万円)	2021年3月期通期実績	2022年3月2Q期実績	前年同期比
現預金	1,899	2,099	199
受取手形及び売掛金	1,342	—	△1,342
受取手形、売掛金及び契約資産	—	1,127	1,127
その他流動資産	185	133	△52
有形固定資産	125	92	△33
無形固定資産	26	24	△1
投資その他の資産	525	483	△42
<b>資産合計</b>	<b>4,300</b>	<b>4,011</b>	<b>△288</b>
流動負債	1,069	811	△258
固定負債	617	640	23
<b>負債合計</b>	<b>1,686</b>	<b>1,451</b>	<b>△234</b>
株主資本	2,638	2,581	△57
その他包括利益累計額	△23	△21	2
<b>純資産合計</b>	<b>2,614</b>	<b>2,559</b>	<b>△54</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>4,300</b>	<b>4,011</b>	<b>△288</b>

# 上半期売上高・営業利益推移

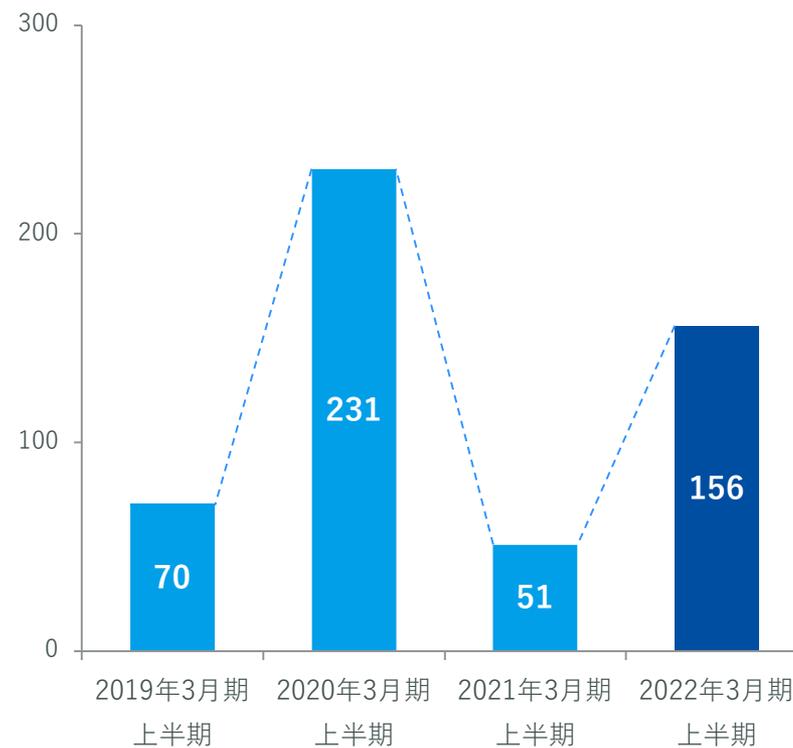


➤➤ 2022年3月期2Qの売上高は、過去4期の2Qの中で最高となった

## 売上高（百万円）



## 営業利益（百万円）

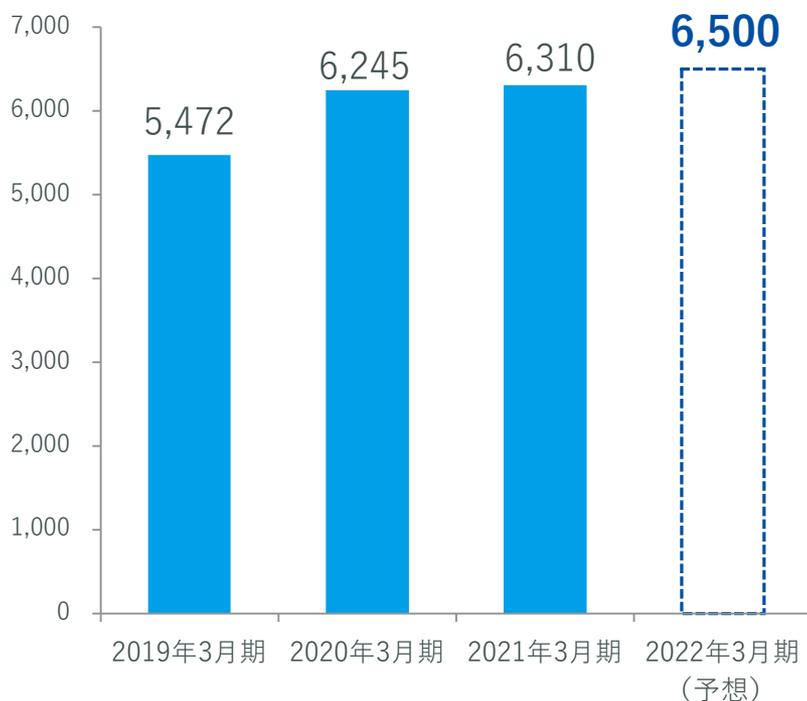


# 通期売上高・営業利益推移

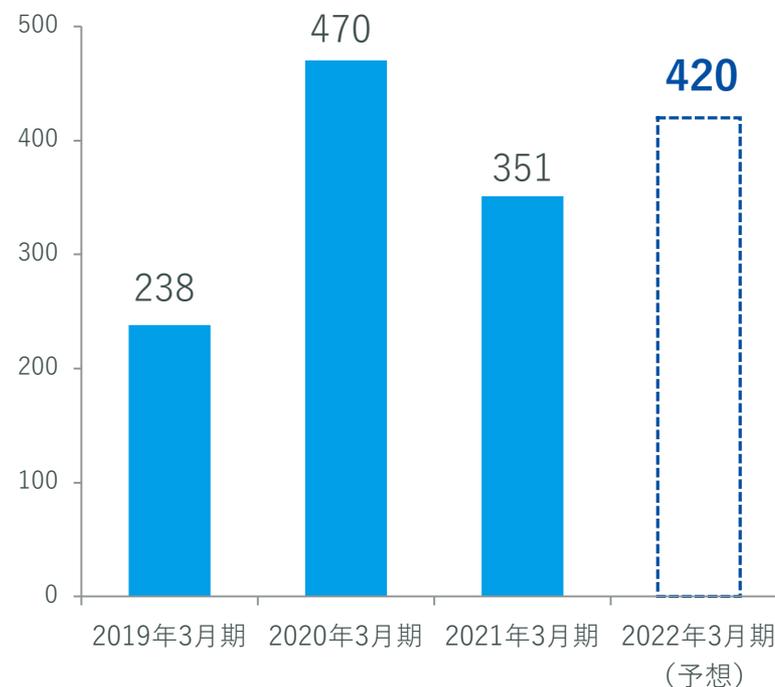


➤➤ 2022年3月期通期の売上高は、過去4期の中で最高となる見込み

## 通期売上高（百万円）



## 通期営業利益（百万円）



# 各事業セグメント売上高



➤➤ デジタルイノベーションセグメントが大幅増加

(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期			
	第2四半期	第2四半期		通期	
	実績	実績	前年同期比 (%)	業績予想	進捗率 (%)
教育ソリューション	321	<b>298</b>	92.8%	666	44.7%
ICTソリューション	1,516	<b>1,573</b>	103.7%	2,993	52.5%
西日本ソリューション	420	<b>486</b>	115.7%	1,110	43.7%
ライフサイエンスサービス	460	<b>531</b>	115.4%	1,077	49.3%
デジタルイノベーション	141	<b>414</b>	<b>293.6%</b>	644	64.2%
その他	0	<b>0</b>	-	8	0%
合計	2,861	<b>3,303</b>	115.4%	6,500	50.8%



# 各事業セグメント営業利益



➤➤ ICTソリューション、西日本ソリューション、ライフサイエンスサービスが増加

(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期			
	第2四半期	第2四半期		通期	
	実績	実績	前年同期比 (%)	業績予想	進捗率 (%)
教育ソリューション	72	47	65.2%	174	27.0%
ICTソリューション	231	297	128.5%	585	50.7%
西日本ソリューション	73	96	131.5%	179	53.6%
ライフサイエンスサービス	22	49	222.7%	116	42.2%
デジタルイノベーション	△58	△12	-	△54	-
その他	△11	△8	-	△19	-
全社	△280	△313	-	△562	-
合計	50	156	312.0%	420	37.1%



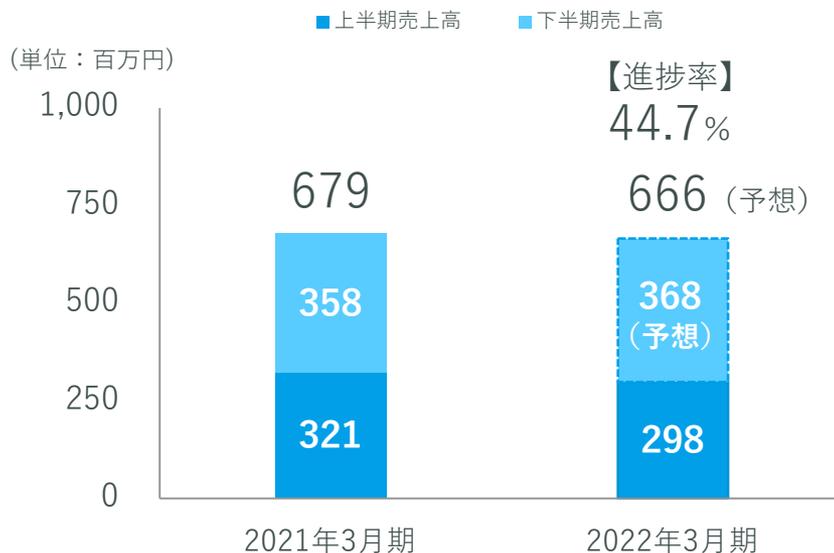


# セグメント別売上高と業績予想（教育ソリューション）

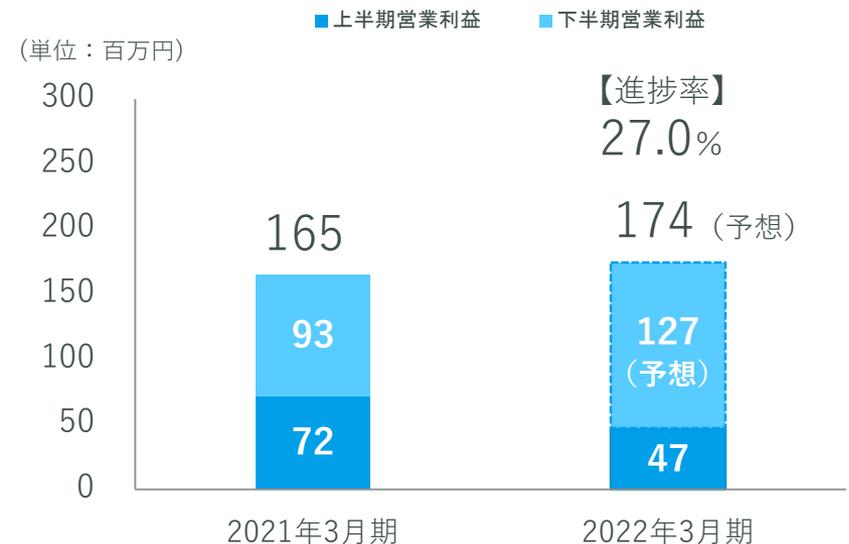
上期実績 >> 新型コロナウイルスの影響により対面型スクールが減少、オンライン型に移行するも、前年同期比減収減益

通期業績 >> DX関連の注力商材を絞って営業活動を展開し、回復を見込む

### セグメント売上高



### セグメント営業利益





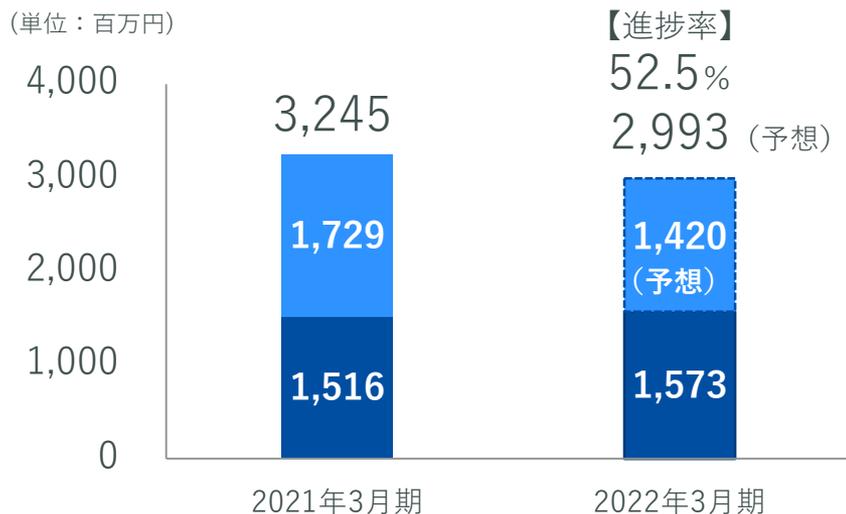
# セグメント別売上高と業績予想 (ICTソリューション)

上期実績 >> 大型案件獲得が寄与し、前年同期比増収増益

通期業績 >> クラウド構築案件が好調に推移。運用サービスのKyriosの販売強化

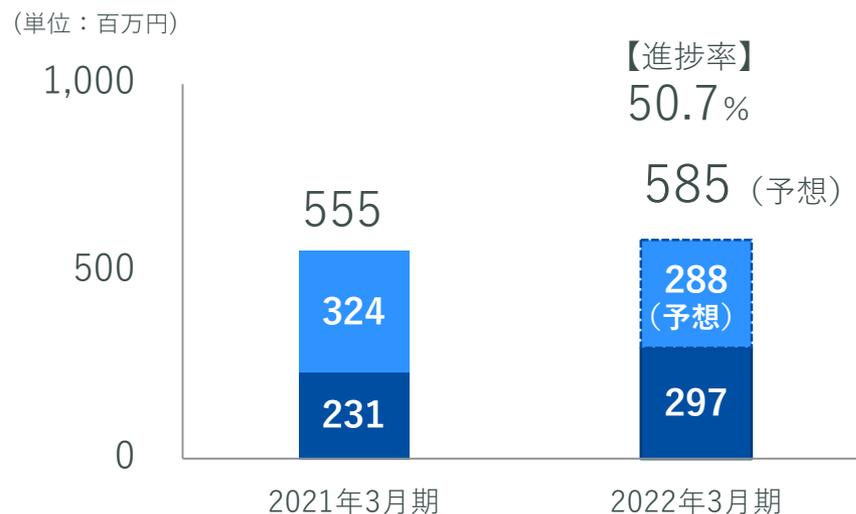
### セグメント売上高

■ 上半期売上高 ■ 下半期売上高



### セグメント営業利益

■ 上半期営業利益 ■ 下半期営業利益

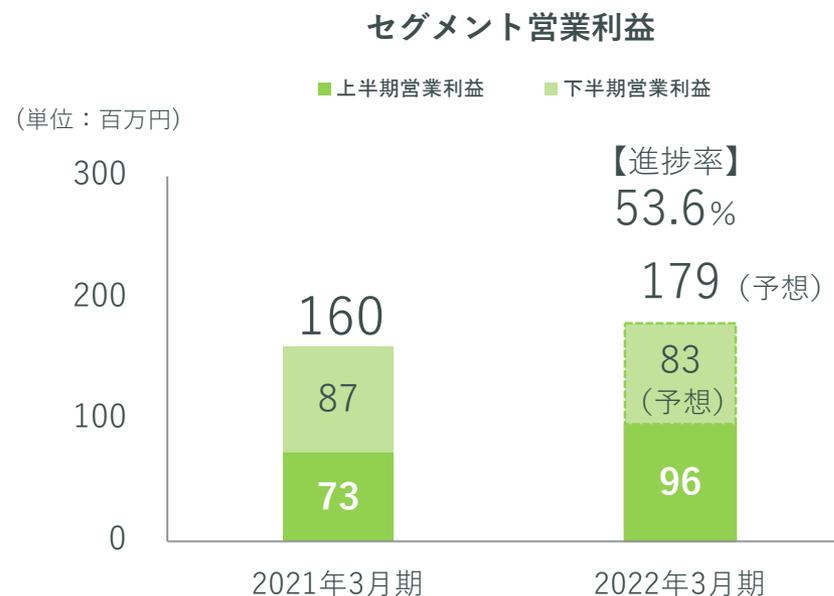
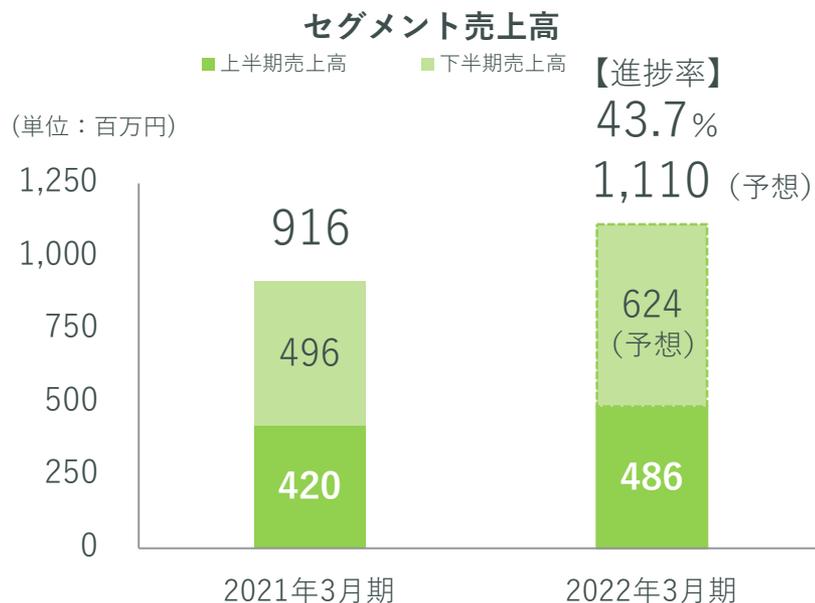




# セグメント別売上高と業績予想（西日本ソリューション）

上期実績 >> 九州・東海地方のICT運用事業が順調に拡大。前年同期比増収増益

通期業績 >> 引き続き、運用案件は順調に推移



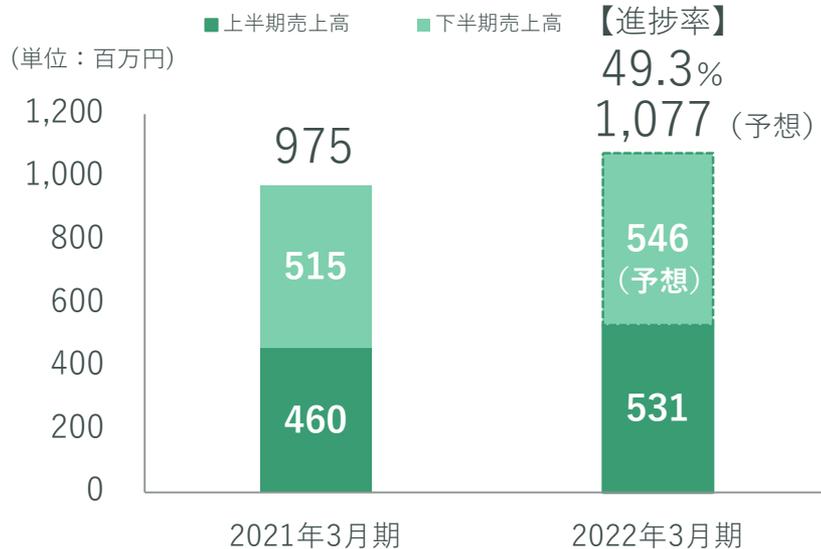


# セグメント別売上高と業績予想 (ライフサイエンス)

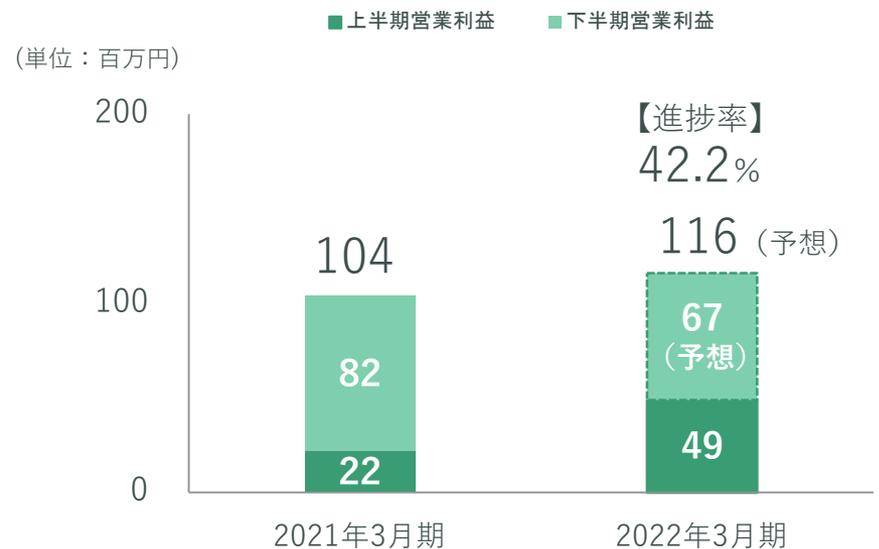
上期実績 >> 医療系エンジニアの稼働回復と大型スポット案件の獲得などが寄与して、前年同期比増収増益

通期業績 >> コロナ後の水準に戻り、海外医療メーカーからの引き合いも復調

セグメント売上高



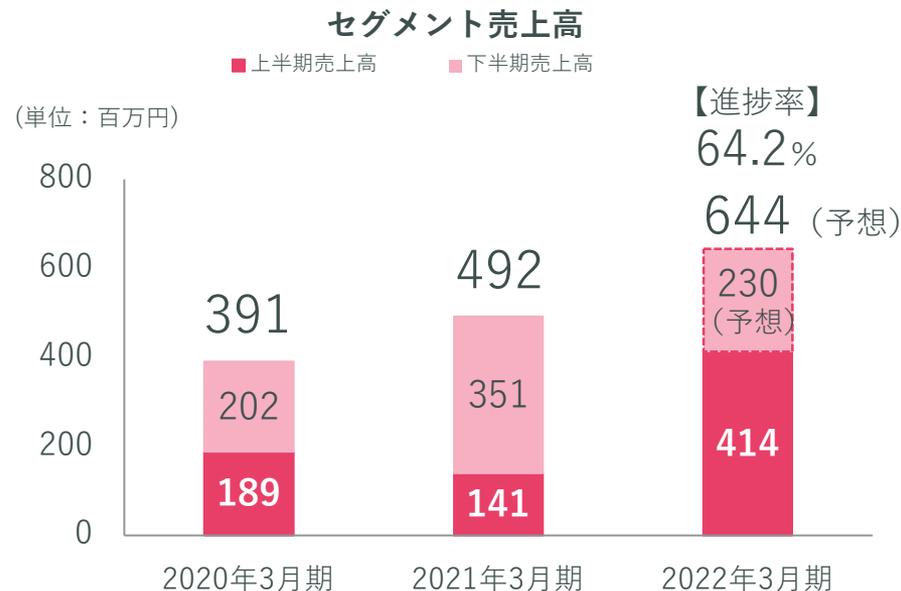
セグメント営業利益





## セグメント別売上高と業績予想（デジタルイノベーション）

- 上期実績 >> Third AIやセキュリティ案件の獲得が進み、前年同期比増収を実現し、損益状況も改善
- 通期業績 >> チャットボット案件は一服感があるが、セキュリティ案件が好調  
セグメント単体での黒字化実現を目指す



## 2022年3月期 下期注力事業の進捗状況

### ユーザー企業向けのクラウド移行支援サービス「Kyrios」の拡大

拡げる

新規受注7社／目標50社受注

### 小売業及び病院向けソリューションサービスの創出

創る

小売業及び病院向けソリューションサービスを下期にリリース予定

### テレワーク需要に対応したセキュリティ事業の拡販

守る

セキュリティ関連商材の受注が拡大

### パラメディックサービスの体制強化

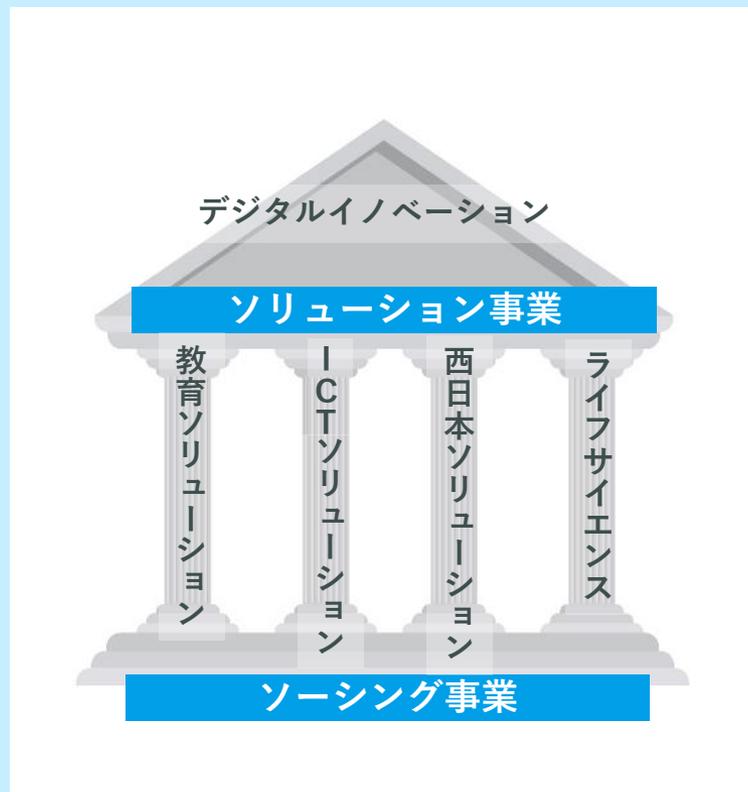
掘り  
下げる

医療現場でのDX推進サポート

# Ⅲ. 下半期の取り組み事項



# 事業拡大モデル



## ソリューション事業強化

エンドユーザ課題に特化した  
自社ソリューション

## ソーシング事業深化

川上から川下まで  
トータルサポート



## Kyrios が求められる背景

クラウドコンピュータは簡単に利用できる反面  
安心して使い続けるには専門的な技術・ノウハウが必要

コンピュータリソースは  
**所有**から**利用**の時代へ





## Kyrios システム運用サービス

エンドユーザ企業のオンプレミス(所有)からクラウド(利用)への移行支援  
お客様のクラウド環境を安全・安心して利用継続するため  
クラウド技術者による専門的なITサービスを提供します

### Kyrios 特長

- 主要クラウドサービスに対応
- クラウド構築から運用まで提供
- ミニマムスタート可能  
(1インスタンスから提供)
- 24時間365日 サービス提供





## Kyrios for テレワーク

お客様は端末をクラウドに接続するだけで  
安心・安全に在宅勤務(テレワーク)が可能に

### Kyrios for テレワーク特長

- クラウド型仮想デスクトップ提供
- Webアクセス管理の提供
- ユーザ端末の証跡管理の提供
- 24時間365日 サポート





## 内部脅威対策

コロナ禍による在宅勤務（テレワーク）により内部不正による情報漏えいのリスクに対策するニーズが高まっています



### 内部不正による情報漏えい事例

- ◆ 2020年 1月 ソフトバンク  
従業員が金銭目的で情報の持ち出し
- ◆ 2020年10月 積水化学工業  
社内評価を高めるため秘密情報の漏えい

出典：IPA「情報セキュリティ10大脅威 2021」  
<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/10threats2021.html>



## リモートワークにおけるセキュリティソリューション

内部不正による情報漏えいを対策するソフトウェアを  
クラウド型のサービスにして販売  
セキュリティ専門家による監視・運用サービスも併せて提供開始

### Proofpoint ITM

(内部不正対策ソリューション)

- 販売パートナー契約
- パートナアワード受賞
- クラウドサービス提供開始

### Ekran

(内部不正対策ソリューション)

- Ekran for Cloud リリース
- ジュピターテクノロジー社との協業発表

### セキュリティ運用サービス

- SoC (セキュリティオペレーションセンター)
- MSS (マネージドセキュリティサービス)



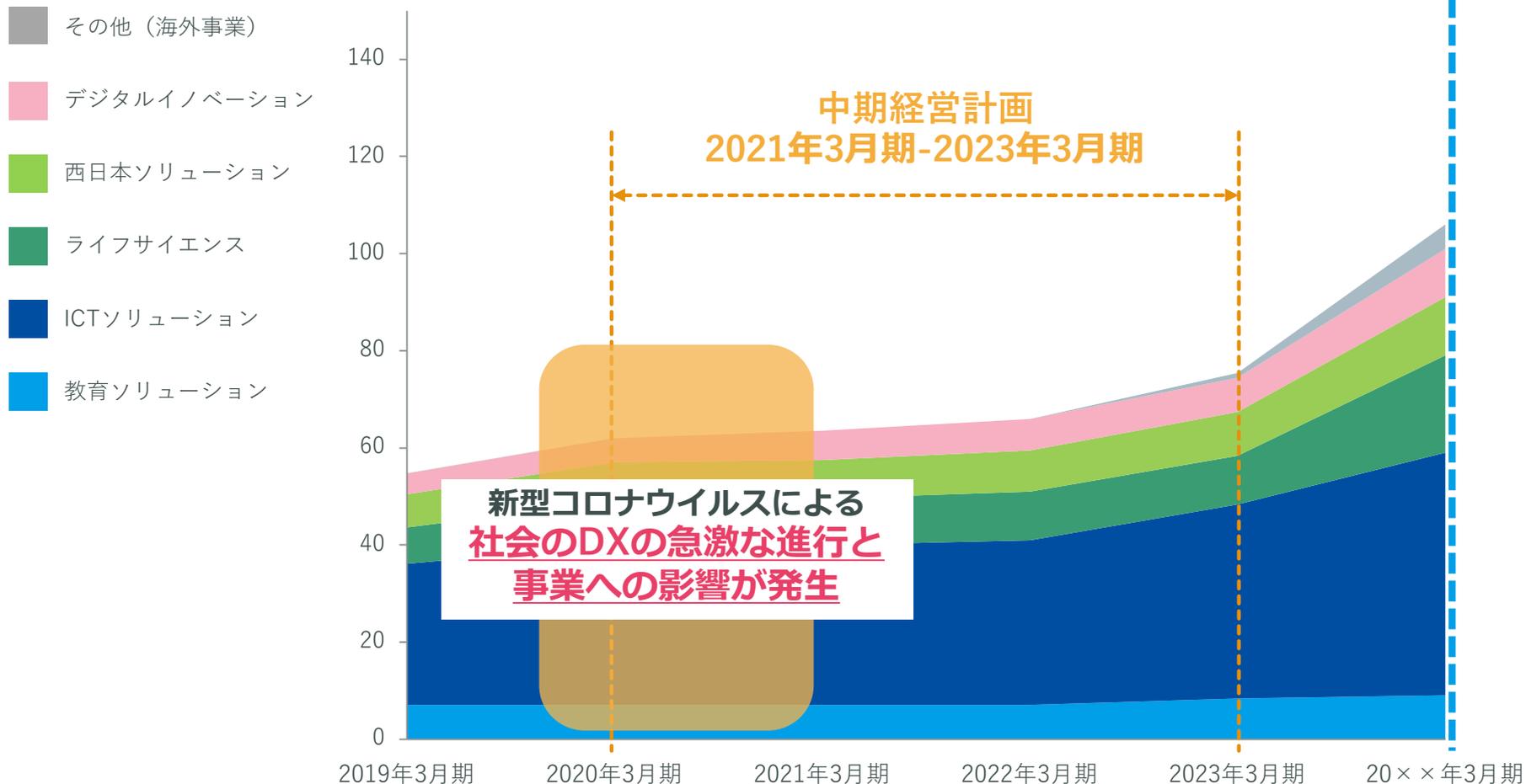
# IV. 第一次中期経営計画の 進捗と変更点

# 第1次中期経営計画の位置づけ（再掲）



長期目標

営業利益 **10** 億円



# 第1次中期経営計画の概要（再掲）



第1次中期経営計画(2021/3→2023/3)

## 基本方針（長期目標）

労働集約型ビジネスから

知識集約型ビジネスへの転換をはかることで

中長期で営業利益10億円を目指す

➤➤ 最終年度目標

売上高

67-70 億円

営業利益

5.5-6.9 億円

# 第1次中期経営計画の概要（再掲）



## 第1次中期経営計画(2021/3→2023/3)

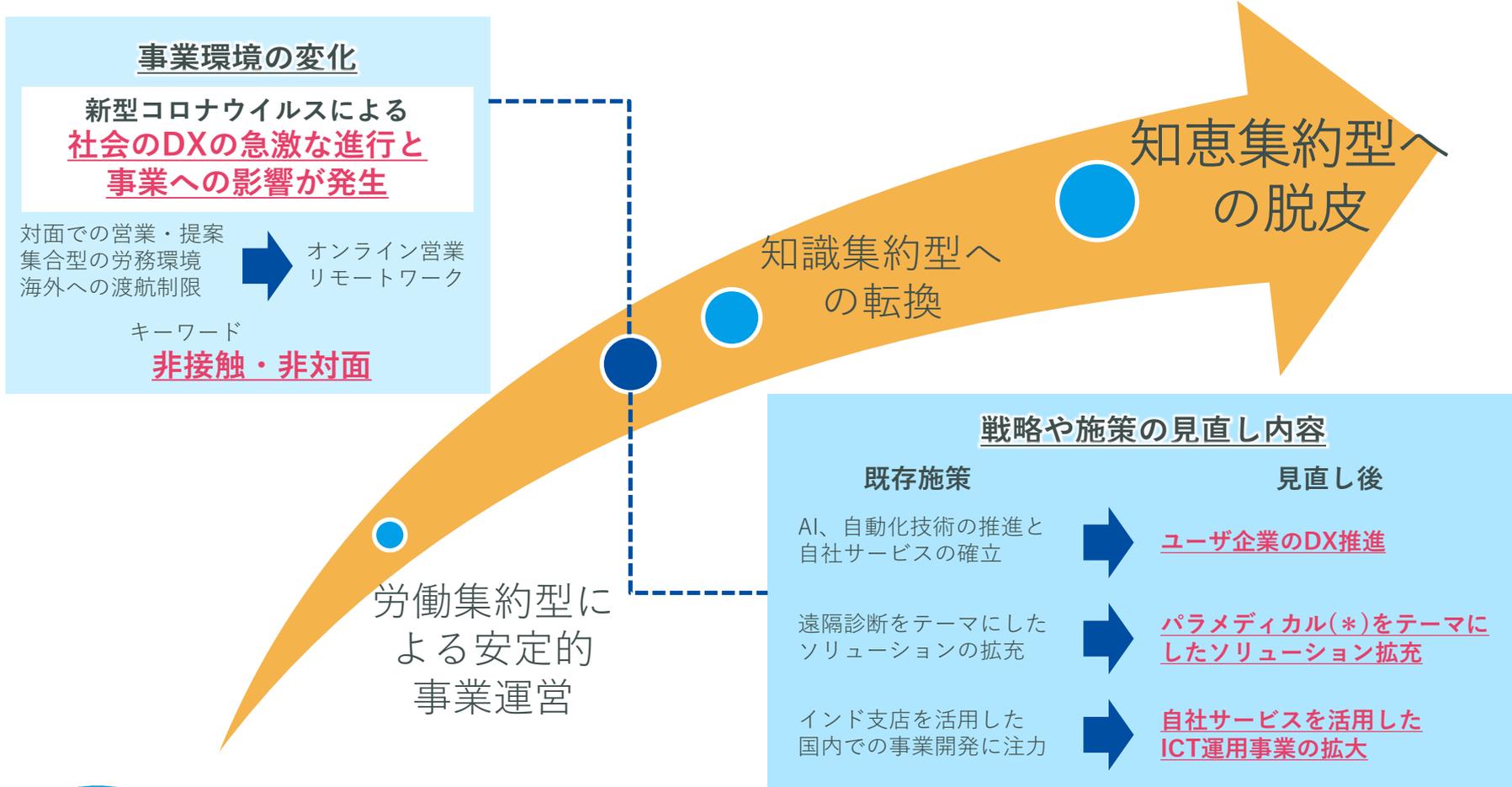
新型コロナウイルスによる  
社会のDXの急激な進行と事業への影響が発生したが  
最終年度の計画に変更はなし

(単位：百万円)	2021年3月期 実績   計画	2022年3月期 予想   計画	2023年3月期 計画
売上高	63   62~65	<b>65</b>   65~67	67~70
営業利益	3.5   4.0~4.5	<b>4.2</b>   4.6~5.0	5.5~6.9

# 事業環境の変化と戦略の見直し（一部更新）



前提となる事業環境の変化を考慮し新たなステージである  
**“知恵集約型”**のビジネス形態への飛躍を図る



# 参考資料



# 会社概要



会社名	JTP株式会社 JTP Co.,Ltd.
本社	東京都品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー 14階
国内拠点	北海道、栃木、東京(本社)、大阪、福岡、愛知、京都
海外拠点	インド支店
施設	トレーニングセンター ・ 御殿山トレーニングセンター (東京・品川) テクニカルラボセンター ・ 東京テクニカルラボセンター (東京・五反田) ・ 関西事業所テクニカルセンター (大阪・吹田)
資本金	795,475,000円
設立	1987年10月31日
従業員	425名 (2021年4月1日現在)
上場市場	東京証券取引所JASDAQ (スタンダード) 証券コード：2488 (2006年6月上場)
認定パートナー	Amazon Web Services APN アドバンスドコンサルティングパートナー LINE 公式パートナー IBM Silver Business Partner SoftBank AIエコシステム・パートナー



# 財務データ推移



(単位：百万円)

	2011/03	2012/03	2013/03	2014/03	2015/03	2016/03	2017/03	2018/03	2019/3	2020/3	2021/3
売上高	5,156	5,164	4,597	4,708	4,661	4,743	4,634	4,748	5,472	6,245	6,310
売上原価・ 営業原価	4,702	4,500	3,885	3,955	3,902	3,918	3,731	3,746	4,408	4,998	5,197
売上総利益	453	663	711	753	759	824	902	1,001	1,063	1,246	1,112
販売費及び 一般管理費	486	551	649	672	582	587	707	749	824	775	761
営業利益	△32	111	61	81	177	237	195	251	238	470	351
経常利益	△40	102	58	89	191	234	136	258	247	483	382
親会社株主に 帰属する当期 純利益	△145	△32	1	14	90	81	3	184	154	309	267

# 直近5期指標推移



直近5期で、一定の自己資本比率を維持しながら、着実に利益を生む体質を構築。今後もこの水準を維持していく方針

## ROE（自己資本利益率）



※出所：NIR提供データを弊社にて加工

## ROA（総資産利益率）

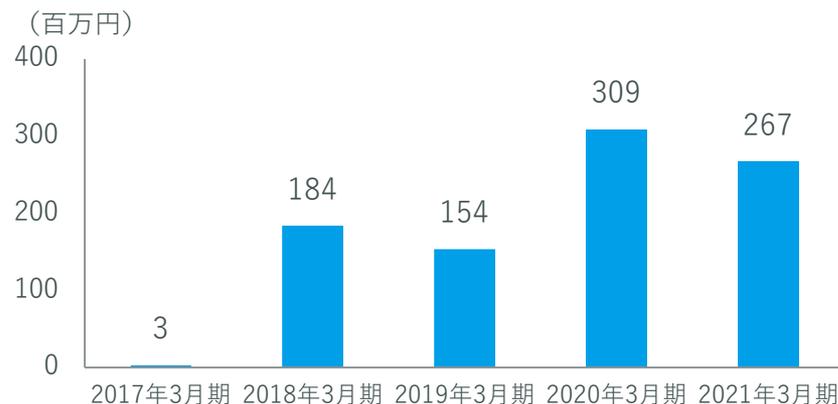


※出所：NIR提供データを弊社にて加工

## 総資産・純資産・自己資本比率 (%)



## 当期純利益



# Connect to the Future

JTP 株式会社 JQ 2488

この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております  
実際の業績は市場動向や業績情勢等の様々な要因等によって異なる可能性があります



© JTP Co., Ltd. All Rights Reserved.